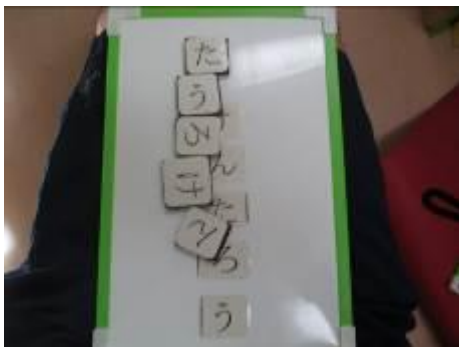
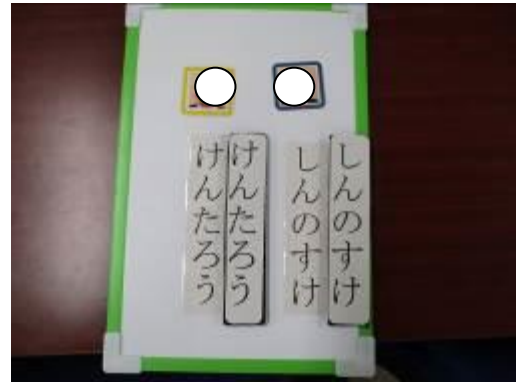


教材・教具名	平仮名ブロック・名前ボード	教科・領域等	国語科
情報提供者	中学部 1年 8組 氏名 郷田 直哉		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

平仮名の勉強をするために、50音全てのブロックを作成した。そこから、自分の名前を正しく並べて認識することをねらいとして、このボードを作成した。

当初は印を付けていなかったもので、向きも順番もバラバラになっていることが多かったが、赤い印を付けてそれを目印にすることで、正しく並べることができるようになってきた。

今後は、平仮名ブロックを使って、様々なものの名前を正しく並べたり、友達の名前を並べたりする練習をしたいと考えている。

2 その他

教材・教具名	漢字プリント	教科・領域等	国語科
情報提供者	中学部 2年 2組 氏名 吉野 功祐, 吉田 彩夏		

教材・教具写真

かんじプリント	なまえ										
	<input type="text"/>										
○ かんじの れんしゅうを しよう											
① <input type="text"/> <small>もり</small> にはいる	② <input type="text"/> <small>くさ</small> をぬく										
③ <input type="text"/> <small>はな</small> びら	④ <input type="text"/> <small>た</small> んぼ										
⑤ <input type="text"/> <small>そら</small> をみる	⑥ <input type="text"/> <small>かい</small> をあつめる										
⑦ <small>かぶと</small> <input type="text"/> <small>むし</small>	⑧ <input type="text"/> <small>いぬ</small> とあそぶ										
⑨ <input type="text"/> <small>あめ</small> がふる	⑩ <input type="text"/> <small>はやし</small> にいく										
<table border="1"> <tr> <td>田</td> <td>空</td> <td>雨</td> <td>花</td> <td>林</td> </tr> <tr> <td>森</td> <td>草</td> <td>貝</td> <td>虫</td> <td>犬</td> </tr> </table>		田	空	雨	花	林	森	草	貝	虫	犬
田	空	雨	花	林							
森	草	貝	虫	犬							

1 教材・教具の説明

- 漢字を書く練習を行うに当たり、市販のプリント等を使うのではなく、下の枠から正しい漢字を選択することができるようなプリントの形式とした。
- 下の枠をヒントとして、繰り返し書く練習を行ったことで、下の枠を見ることなく書くことができる漢字が増えてきた。
- 少しずつヒントとなる漢字の数を減らすとともに、正しくない漢字も選択肢として加えることで、さらに考えながら漢字を書く練習に取り組むことができた。

2 その他

教材・教具名	平仮名マッチング	教科・領域等	国語科
情報提供者	中学部 3 年 2 組 氏名 徳山 幸		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

- ・ 平仮名の読みが進まない生徒に使用した。
- ・ 洗濯挟みについた平仮名を並べて、身近な単語を作っていくことで、平仮名表記と読みをつなげていくことを目的とする。

2 その他

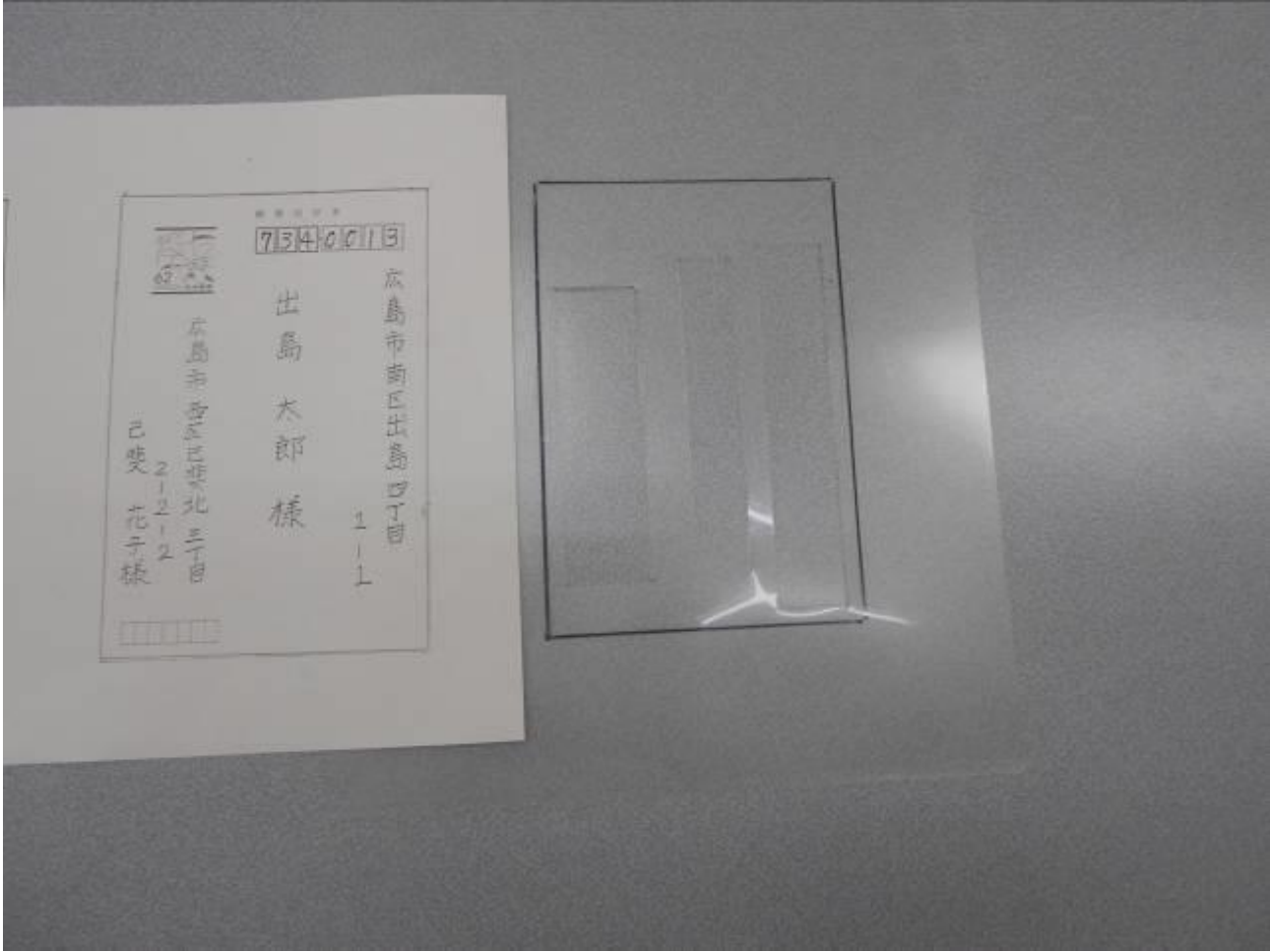
- ・ 支援方法次第で実態の幅があっても使用可能な教材だといえる。
- ・ 具体物を扱うということもあってか、集中して落ち着いて取り組むことができている。
- ・ 継続的に取り組んでいるうちに、単語の頭文字であれば、読むことができるものも出てきている。

参考文献・Web

特別支援教育 はじめのいっぽ！ 国語の時間

教材・教具名	なぞり板	教科・領域等	国語科・数学科
情報提供者	中学部 3年 7・8組 氏名 藤田 由恵		
教材・教具写真 (規格:縦 21cm×横 15cm×厚さ 0.5cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カラーパネルを直線や曲線に切り抜いた。切り抜いた溝をペンでなぞり、はみださないきれいな直線や曲線を描く練習をする。 ・ うまく鉛筆が握れなかったり、筆圧が弱かったりするため、ホワイトボードにマーカーで描かせている。 ・ パネルを固定させるため、裏にマグネットを付けている。 ・ 最初は教師が、手本を見せて取り組ませた。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	色と形マッチング教具	教科・領域等	国語科（自立活動）
情報提供者	高等部 1年 4組 氏名 村上 恵子		
教材・教具写真	①（規格：縦 24cm×横 31cm×高さ 4cm） ②（規格：縦 12cm×横 17cm×高さ 2cm）× 4個		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  </div> </div>		
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語の授業や自立活動で、色と形をマッチングさせる学習をするための教具である。 ・ 理解度に応じて教具を使い分ける。 <p>① 色と形のマッチング教具</p> <p>上の形（日用品：帽子・靴・水筒・鞆・本）と左の色（赤・黄・青・緑）にマッチングさせながら、適した絵カードを選択し、箱の中に入れていく。絵カードは複数枚、用意しておき、継続して取り組むことで、定着させていく。</p> <p>② 色みのマッチング教具（より実態の重い生徒用）</p> <p>色（赤・黄・青・緑）にマッチングさせながら、適した絵カードを選択し、トレイの中に入れていく。絵カードは複数枚、用意しておき、継続して取り組むことで、定着させていく。</p> <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やり方をすぐに理解し、どの生徒も一人で取り組むことができた。継続して取り組むことで、速く正確にできるようになった。 ・ たくさん取り組む方がより定着するが、集中力がもたない生徒もいるので、実態に応じて絵カードの枚数を調節する必要がある。 ・ 絵カードを入れる容器は、お土産用のお菓子の箱やレトルトご飯のトレイ、豆腐の容器など、家にあるものを利用した。特に、お土産用のお菓子の箱は、適当な敷居があり、マッチング学習の教具やビーズなどの小物を整理するのに適当である。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	はがき宛名書き補助具	教科・領域等	国語科
情報提供者	高等部 3年 5組 氏名 永野 佳代子		
教材・教具写真			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリアファイルの片面にはがきの大きさに黒の線を引き、相手の住所と宛名、自分の住所と名前を書くところを片面だけ切り取り、間にはがきを入れて、表書きをする際に使用する。 ・ 練習では、プリントのはがきに住所等を書くところを四角で囲ったものを書く練習をさせ、本番でも使用する。 ・ クリアファイルに挟んだはがきが滑るため、テープではがきを固定して使用した。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	「あいうえおいしいな」 パネルシアター	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 1年 2組 氏名 原 猛志, 渡辺 優花		
教材・教具写真 (規格:縦 55cm×横 70cm×高さ 1cm)			
		 <p>使い方</p>	 <p>裏面</p>
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>導入として使用しているアンパンマンの「あいうえおいしいな」の動画をパネルシアターにした。</p> <p><パネルシアターの利点></p> <ul style="list-style-type: none"> 登場するものに注目しやすくなる。 <p>背景に白いパネル布を使用し、食べ物パネルの縁の線を太くして貼り付けたことで、より注目させたいものが目立った。また自由に取り外しができるため、児童が手にとって確認することができた。</p> 操作が簡単のため、児童が参加しやすくなる。 <p>初めは、教師が操作をして、歌の終了後に、「どれが食べたい。」と聞いて、児童に選ばせる活動をした。パネルを取り外す活動だけでなく、慣れてくると歌詞に合わせて、児童にパネルを貼り付ける活動を取り入れることもできた。</p> <p><作成上のポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 裏面にクリアファイルを付けていると、パネルが取り出しやすく操作に手間取らなくなった。 ダンボールを縦横2枚合わせにすると、折れ曲がらず、頑丈だった。 <p>2 その他</p> <p>教師が歌を歌っているため、歌詞を自由に変えることができるので、他の食べ物や乗り物、動物なども登場させて、様々なものに興味をもたせたいと考えている。</p>			
参考文献・Web			

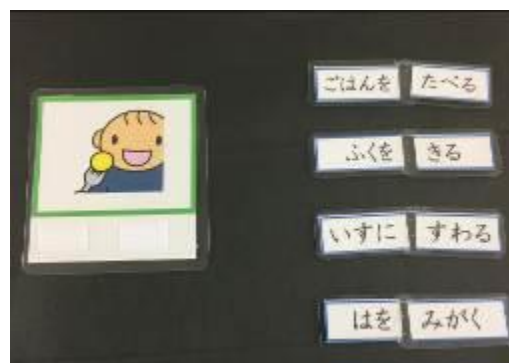
教材・教具名	「二語文学習カード」	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 3年 3組 氏名 竹野 裕美, 齋藤 雄, 岡村 恵理子		

教材・教具写真 (規格: 縦10cm×横10cm)

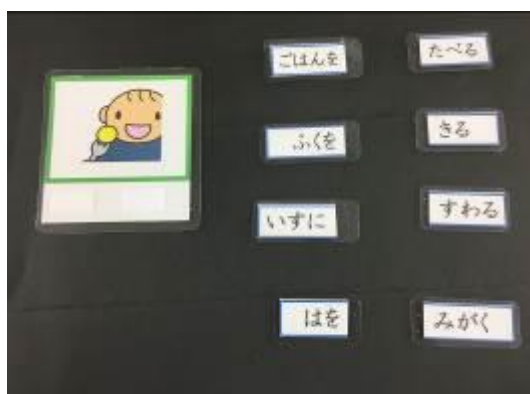
①



②



③



1 教材・教具の説明

- ① 二語文の理解を促すための教材である。児童の身近な動作に関する文を選んで作成している。
- ② 二語文を1枚の文字カードに表示し、イラストとマッチングする活動を行った。
- ③ 児童の学習の進度に合わせて、文字カードを2枚のカードに分け、その中から2枚を選んで文を完成させる活動を行う。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	らいおんばさみ、ボタン落とし	教科・領域等	自立活動
情報提供者	小学部 3年 4組 氏名 益 達郎		

教材・教具写真 (規格：縦 15cm×横 15cm)

①



②



1 教材・教具の説明

- ・ 指の巧緻性を高めたり、手元を見て、作業したりすることをねらいにしている。

2 その他

- ① ライオンのたてがみを洗濯ばさみで表現している。
- ② 穴の回りに色を付けて、ボタンを落とす場所を色を分かりやすくしている。

参考文献・Web

福山特別支援学校自立活動ガイドブック

教材・教具名	「みんなみんなみつけた」	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 3年 7組 氏名 山下 真由		

教材・教具写真 (規格：縦30cm×横50cm×高さ30cm)

絵本の読み聞かせ

*木の後ろに隠れたしまうまの場面



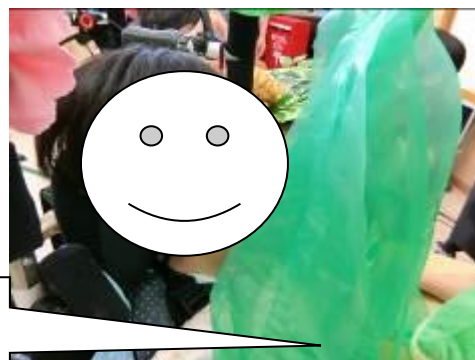
*黄色の花畑の中に隠れたひょうの場面



隠れている動物を見付ける活動



「花紙の花」を落とすことで、中に隠れているぬいぐるみを見付ける。



「すずらんテープ」をすだれにして、テープの向こう側に隠れている動物を見付ける。



「片栗粉」をお湯に溶かして、ヌルヌルの海の中にあるプラスチックの動物を見付ける。



「木の枝」の下に、隠れた、動く猫のぬいぐるみを見付ける。

1 教材・教具の説明

絵本に注目させたい所を強調するために、木の部分に「滑り止めシート」、しまうまの部分に「綿」、うさぎの部分に「スポンジ」、黄色の花を「大量の花紙」で再現して、登場人物の変化を知ることができるように作成しました。

絵本「みんなみんなみつけた」の学習で用いた。児童が持っている動きで、隠れている動物を見付ける（触れる）ことができるように、素材や大きさを変化させた。

参考文献・Web

絵本「みんなみんなみつけた」

教材・教具名	なまえを作ろう	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 4年 1組 氏名 中島 綾菜, 町田 光翼		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

身近な物の名前を言うことができるが、平仮名を読むことが難しい児童に対して、文字をマッチングさせながら、単語を作る学習を行っている。

見本がすぐ隣にあることで、児童が自分で確かめながら単語を作ることができるようになった。

また、自分で操作しながら、単語を一つずつ作れるように、リングを取り付けている。リングでまとめたことで、課題の内容や児童の実態に合わせて問題数を変えることもできる。振り返りの際は、一文字ずつ指で文字を押さえながら声に出して確認しており、少しずつ、動かす指と声を出すタイミングが合ってきている。

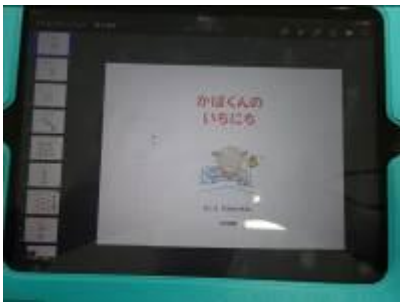


継続して使用しながら、文字と音声を結び付けられるようにしていきたい。

2 その他

フォントは教科書体を使用している。（「さ」「き」ではなく、「さ」「き」を使用したいため）

参考文献・Web

【教材・教具解説】

教材・教具名	Key note を使った教材	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 4年 2組 氏名 長藤 祐揮		
教材・教具写真	(規格：縦 20cm×横 30cm×高さ 20cm)		
			
図 1	図 2	図 3	
<p>・スライド形式で、本や児童の写真や動画を組み合わせる使う。</p>	<p>・Apple TV につないで、TV に映して、児童が大きな画面で見ることができるようにする。</p>	<p>・聞くだけでなく、自分の選択したものを操作する活動を行う。また、その様子も TV で児童全員が共有できる。</p>	
<p>教材・教具の説明</p> <p>Key note はプレゼンテーション作成のアプリである。スライドに画像や文字、また動画などを入れて、スライドショーとして使用することができる。今回、国語科の授業の中で、児童が参加しながら聞くことができ、「読み聞かせ教材」を作成する目的で使用した。</p> <p>① 読み物教材としての役割 絵本では、小さくて児童が見にくいということがあった。大きな TV 画面に映せることで、児童も見やすく、教師も本に注視する必要がないので児童の様子を観察しやすくなった。</p> <p>② 児童の疑似体験型学習としての役割 「かばくんの1日」は、かばくんが朝起きてから寝るまでの1日の流れを紹介していく物語である。朝食を食べる場面では、iPad のタッチ機能を生かして児童にも朝食のメニューを選ばせる。また、食べた物を「満腹の男の子の画像」に重ねていく活動などを行う。</p> <p>③ 動く教材の役割 動画を貼り付けたり、リンクしてタップすると動画に飛ぶようにしたりすることで、動く教材を作る。止まっているものより児童の興味をひき付けることができる。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	「つぎ、とまります」バスごっこ	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 5年 4組 氏名 清水 和枝		

教材・教具写真 (規格: 縦 25cm × 横 40cm)



1 教材・教具の説明

もとは、絵本である。児童に身近で大好きな「バス」を取り上げて、視力の弱い児童も捉えやすい白黒の図柄が、本学級に適している。ページをめくるたびに、動物がバスを降りていくという展開で、繰り返しにより見通しがもちやすい内容である。

絵本のサイズがやや小さいため、拡大した。バスを降りるときに押すブザーの代わりに「ピンポン」と鳴る電子音ブザーを用いることと、せりふである「次、止まります。」の言葉を録音したビッグマックを用いた。児童はページをめくると、ブザーを鳴らすことや「次、止まります」のせりふの再生をすることに高い興味を示し、操作したがった。目で捉えることが弱い児童のために、ブザーやビッグマックは赤色のものを用いた。読み聞かせの回数を重ねるうちに、バスがどこに進むのか読み取ったり、誰がバスを降りていくのか予想したりする児童もいるので、絵本の画面の多様な情報の中から登場人物に注目できるように、ペープサートを作成した。

2 その他

教材・教具名	ひらがなマッチング	教科・領域等	国語科
情報提供者	小学部 5年 5組 平位 和帆		
教材・教具写真	(規格：縦 30 cm×横 50 cm×高さ 30 cm)		
			
1 教材・教具の説明	<p>文字（平仮名）への興味が高く、フラッシュカード等で、発声による絵と名称の一致がある程度可能である児童への教材として作成した。型枠内に入れてある見本の文字カード（赤枠）の上に、文字ブロック（青枠・厚さ5mm）をはめ込んでマッチングを行う。見本の文字カードと、絵カードは取替え可能で、縦に並べることも可能である。絵カードは市販の平仮名カルタ等で代用できる。</p> <p>型枠をつなげることで、机上で2～5文字までの単語で平仮名のマッチングが可能である。自分の名前や、普段慣れ親しんでいる学級の友達の名前のマッチングにも取り組み、楽しみながら学習していけるようにしたいと考えている。</p>		
2 その他（材料）	<p>カラーボード（型枠・文字ブロック）、 型紙（型枠の下敷き）、ラミネートフィルム（見本文字カード・文字ブロック・絵カード）</p>		
参考文献・Web			

教材・教具名	動作カード	教科・領域等	国語科
情報提供者	中学部 1年 4組 氏名 竹元 恵美子		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

生徒の発達段階において、使い方を考えていく。

- ① 動作を表す文を聞いて絵カードを選ぶ。
- ② 絵カードを見て動作を表す文を言う。
- ③ 絵カードの動作を表す文字カードを選びクリップで留める。
- ④ 動作を表す絵カードを見て文字を書く。
- ⑤ 動作を表す絵カードを見て話を作る。
- ⑥ 動作を表す絵カードかを見て話を作り、文字にする。

2 その他

参考文献・Web